



「集団感染を防ぐ」と「充実した園生活を送る」のはざまに

約100年前に全世界で流行したスペイン風邪は、世界人口の1/3以上が感染したと言われていています。当時、米国のセントルイス市では学校閉鎖（休校）や集会・イベント禁止などの積極的な対策によって感染拡大を抑えることができましたが、対策が遅れたフィラデルフィア市では死亡率がピーク時でセントルイス市の8倍以上になったという疫学データがあります。これが現在の公衆衛生や学校保健に知見として大きな影響を与えています。（ ）

100年前の米国とは社会的背景が異なるので一概に比較はできませんが、学校や幼稚園など、集団感染のリスクが極めて高い場所では、今回の新型コロナウイルス感染拡大防止策として、休校、休園が効果的であることは間違いないでしょう。

一方で、現在の社会的背景を考えると、共働きをされている方や、やむを得ず預けなければならない方への預かり保育などの対応は必要でしょうし、同時に、ご家庭で過ごしている子ども達へのケアも必要です。

その上で、「集団感染を防ぐ」という公衆衛生の視点と、「充実した園生活をおくる」という教育・保育の視点とを、どのように両立させていくかが課題だと考えています。そのために何ができるのか、今まさに教職員と、休園中の対応について知恵を絞っているところです。

今後の感染状況や行政の通達を受け、園の対応につきましては引き続きメール等でお知らせして参ります。卒園式につきましても、もう少し状況を見ながらメールでお知らせ致します。

～ 終業式 ～

3月19日に予定している卒園式を残し、本日の終業式をもって3学期及び令和元年度は終了となります。終業式は晴れたら園庭で、雨の場合はホールでドアを開放して行います。また、お別れ会で予定していた「年少・中から年長への手作りプレゼント」、「年長から年少・中へのお米や引き継ぎ書のお渡し」も短縮して行います。

約2週間早い終業式となり、子ども達には戸惑いもあるかと思いますが、本日の終業式では、これまでの大きな成長を自信に変え、進級、進学に向け、前を向いて歩いて行けるよう、促してあげたいと思います。

保護者の皆さまには、様々なご不安や、ご不便があろうかと思いますが、どうぞご理解とご協力をお願い申し上げます。

園長

参考文献：「新型インフルエンザ等対策」（内閣官房）

「新型インフルエンザ：公衆衛生的観点から」（尾身茂）